協力／ENGEL・角川大映・松竹・ミュージアム

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

金髪の座頭市がタップダンスを踊る？

北野武監督・主演「座頭市」

脚本・監督・主演と、大車輪の活躍の北野監督。演出中から一転、追力ある座頭市になって殺陣を披露。そんな北野監督の苦労は「今回カンペが読めないのが一番困ったな～（笑）」だそうだ。本作は本年９月より全国松竹系で拡大ロードショーされる

大映京都が生んだ勝新太郎の当たり役・座頭市を北野武が脚本・監督・主演でリメイクするというビッグプロジェクトが始動している。座頭市と言えば盲目で居合の達人。演じた勝新太郎のイメージがあまりに強いこの役を北野監督はどう演出し、演じるのか？

北野「座頭市というタイトルは付けるけど、主人公は盲目で居合の達人という事を除いては勝さんの座頭市とは全然違うものになるという事を納得していただいて。我々にとっても座頭市は勝さんのものですから」

■今回は金髪の座頭市だそうですが？

北野「勝さんのイメージをいかに破るかって事で、すごい早めに染めちゃったの。前の映画（ドールズ）公開前に染めて、テレビを通してお客さんに見てもらって。いきなり金髪でって言ったら、みんな倒れちゃうと思って世間を慣らしてからやろうと」

■タップダンスやコントの場面があるそうですが？

北野「タップというけど、江戸時代だから下駄と草鞋なんで、そこにパーカッションが付いてるっていう。そういう映画は昔からあって、高田浩吉さんが田舎のあぜ道を歩いていると、田植えをしているお百姓が一緒に歌ったりする、それが現代ならこうかなと」

■もしも勝さんが生きてらしたら、どのようにおっしゃると思いますか？

北野「勝さんが生きていたら？　はならやりませんよ。死んだからやるんです（笑）」

忍者ものの原点そして決定版！市川雷蔵「忍びの者」

雷蔵のもうひとつの大ヒットシリーズ。角川大映よりリリース。各４７００円(税抜)

顔の下からもうひとつの顔が現れる！　忍びの術に命をかけて戦乱の野を走る…。今号の巻頭特集でも紹介されている市川雷蔵の「眠り狂四郎」に並ぶ、もうひとつの大ヒットシリーズ「忍びの者」シリーズがＤＶＤで角川大映よりリリースされる。

本作はテロ、人心撹乱、諜報活動などの現代的な問題を、非人間性に徹した忍者という特異な存在を通して描いた村山知義の原作を映画化したハードボイルド忍者ものの傑作。

監督は社会派の巨匠・山本薩夫で'62年より「忍びの者」「続・忍びの者」「新・忍びの者」「同・霧隠才蔵」「同・続・霧隠才蔵」「同・伊賀屋敷」「同・新・霧隠才蔵」「続書・忍びの者」と連作され、雷蔵急逝後も松方弘樹主演で「忍びの衆」が製作された。

時代劇ブームは止まらない！

京都の女流監督・竹内美年子最新作！「くノ一忍法伝・からくり遊戯」

エロス！忍法！「チャンバラ」「お色気忍法」「セクシー衣装」と原点回帰。これぞくノ一だ！との意気込みで京都の女流監督・竹内美年子が脚本・監督を務め、時代劇ブームに放つ意欲作。

主演はアイドル登竜門「テレ朝エンジェルアイ」の初代メンバーとして写真集・イメージビデオ・グラビアなどで大活躍中の樹里。共演は新人・月野はるかと、現役女子大生の葵志麻、そして宗像美保ら。

時は慶長三年、首領の命令によって豊臣秀吉の隠し埋蔵金を探す事となったくノ一・くるみのお京（樹里）。変装し地図を手に目的地に向かうが、道中でくノ一・椿（宗像美保）率いる伊賀忍者に襲われる。仲間を失いながらも旅を続け、目的地の村に着いたお京だが村人は埋蔵金のありかについては決して口を割らなかった…。

行く手を阻む伊賀忍群。その首領・くノ一椿を宗像美保が演じている

特撮イケメン・高野八誠も激闘！「新・影の軍団」第二章

千葉・松方両御大の激突！　やはり松方弘樹のシリアスな顔は締まる。ＤＶＤはミュージアムより発売中

'80年から'85年にかけてシリーズ４弾まで放映された大人気テレビシリーズ「影の軍団」復活第二弾。今回は前作の続編で千葉真一、松方弘樹、山本昌平が繰り広げる三つ巴の忍者バトルに仮面ライダー龍騎の高野八誠、百獣戦隊ガオレンジャーの金子昇の他、船木誠勇、アコムのＣＭでおなじみ小野真弓、勝村美香、つぐみ、中村俊美など、今話題の若手スターが結集。激闘に火花を散らす。

往年のファンには千葉先生の忍者装束だけでも感涙もの。テレビでは江戸時代で風呂屋の半さんとして女湯をのぞいてニヤけていたが、本作は戦国時代に遡って、千葉先生演じる服部半蔵と松方弘樹先生演じる猿飛佐助とがハードに激突する。グッとシビアな集団闘争劇に思わずこぶしを握ってしまう。全国でレンタル及び発売中！

特撮イケメン組の振り踏み。左より高野八誠、山口祥行、船木誠勇

今月の言葉

トピックスを借りてご紹介したように、小生の新作映画は「新怪談残虐非道・女刑事と裸体解剖鬼」と決定。この原稿を執筆している５月28日は平行して６月２日よりの撮影開始準備に追われて、さながら針地獄の様、呈しおり候といった状況。今回のテーマはチャンバラ。時代劇ブームに当て込んだのではなく、以前より現代劇で大チャンバラが出来ないか模索していた夢が、やっと結集した次第。怪談のクライマックスが大チャンバラ！　お楽しみに。

２００３年7月1日　山田誠二

責任編集人
山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

トピックス

山田誠二新作怪談製作開始！

小生こと山田誠二が昨年の「妖奇怪談全集」に続いて放つ怪談シリーズ最新作の製作が決定。題名は「新怪談残虐非道・女刑事と裸体解剖鬼」という。そのスジにはビンビンのもの。前回に続いてベストセラー作家・京極夏彦が語り・編集・音響を担当。現代怪談実話集のベストセラー「新耳袋」の著者・木原浩勝も特別出演する。

主演は人気アイドル・才谷ゆきこ。その他の出演はカリスマＡＶ女優・夢野マリア、インディーズの主演作で３千本を売った中西絵里奈、勝新太郎の右腕として殺陣も担当していた橋本和博ら。

舞台は'60年代の京都。人造人間による奇怪な連続殺人が発生。被害者は無残に引き千切られ、内臓を食い荒らされていた。事件を担当した笹井刑事が手掛かりをつかめないままに部下の婦警たちも惨殺され、ついには笹井刑事の妹までもが拉致されてしまう。

事件の首謀者は田村という天才外科医で、人造人間も田村が作ったものだった。田村は笹井刑事の妹を解剖し、無残な人体実験を行った…。アクション、エロ、グロ、ナンセンスな超大作になる予定。東京・大阪・名古屋で10月公開予定。